

第 11 回 中学校給食推進連絡調整会議作業部会 会議録

■開催日時 平成 29 年 1 月 25 日（水） 15 : 00～16 : 35

■場 所 教育会館 第 7 会議室

■出席者 委員：小学校長代表 山崎校長
中学校長代表 井上校長
中学校教頭代表 熊木教頭
中学校教務主任代表 稲嶺総括教諭
中学校養護教諭代表 野口総括教諭
中学校生徒指導担当代表 甲斐総括教諭
教育）石井中学校給食推進室長
北村健康教育課担当課長
田中中学校給食推進室担当課長

※欠席者： 小学校長代表 鈴木校長
川崎市教職員組合 榎間書記次長、鈴木栄養教職員部長
高井指導課担当課長
森中学校給食推進室担当課長、阿部中学校給食推進室担当課長

事務局：教育）中学校給食推進室 二瓶担当係長、新田担当係長、沼田主任

■内 容（進行 中学校給食推進室）

— 資料確認 —

資料 1 中学校完全給食本格実施について（自校・合築校）

資料 2 川崎市と株式会社タニタとの包括協定について

（事務局より説明）

資料 3 平成 28 年度 中学校給食保護者説明会 質問・回答について（12/17 開催分まで）

（事務局より説明）

委 員 既に完全給食を開始した学校において、牛乳の飲用についてのトラブルはないか。

事 務 局 どうしても飲ませたくないという保護者がおり、協議したという報告を 1 件受けている。基本的には、完全給食において牛乳は主食やおかずと共にセットであり、飲用してもらうということをきちんと説明している。

- 委員 小学校でも牛乳の飲用によって、お腹の調子が悪くなるという理由の場合があり、その事で診断書を取り提出するということに抵抗があるようだ。福島第一原子力発電所の事故による放射能の影響が心配で、牛乳の飲用を停止した保護者もあり、その流れで停止したいという保護者はいるかもいれない。
- 事務局 犬蔵中学校ではトラブルはないが、牛乳の残数が多い日もあるようだ。
- 事務局 中学校については牛乳停止についての手続きを「川崎市立中学校における学校給食費の取扱い等に関する要綱」で定めている。アレルギーが理由ではない場合の牛乳停止もそれに則り行うことになる。
- 委員 現在のミルク給食では、飲用について選択することができ、完全給食の牛乳飲用との違いについて、学校長の認識の差もあるかもしれない。学校により取扱いが違うということになってはいけないので、共通理解がえられるように事務局からしっかり説明してほしい。
- 事務局 現在、在校生・新入生保護者説明会で牛乳を含めた完全給食ということを説明している。校長会では手続きについて説明しているが、完全給食での牛乳の飲用について御理解いただけるよう説明していく。
- 委員 年度途中で牛乳飲用の扱いが変わるということに不安がある。完全給食実施後、牛乳飲用が原則であるということに理解が得られるか。
- 委員 完全給食を先行実施している自校・合築校方式の4校での状況はどうか。
- 事務局 御理解いただいている。
- 委員 平成29年4月からのミルク給食での牛乳の取扱いは今までどおりということでよいか。小学校給食でも牛乳の飲用は原則であることから、その流れで4月からも飲用が原則とする方がよいのではないか。学校により取扱いが違わないようにしてほしい。
- 委員 平成29年4月からの牛乳の取扱いについて、完全給食へ移行する時に混乱しないよう検討していただきたい。
- 事務局 自校・合築校方式の4校での取扱いなども検証し報告するとともに、校長会とも相談をしていく。
なお、先行実施の学校では、平成28年4月から食育だよりを毎月1回発行するなど、牛乳飲用の重要性などを発信していたので、完全給食への移行が円滑に行われていた。学校給食センター配送校にも、食育だよりを発行し周知していくことを検討する。
- 委員 犬蔵中学校の給食時間の様子はどうか。
- 事務局 給食時間になると、生徒は廊下に滞留することもなく、整然と行われている印象である。ま

た、配食に当たり、廊下に並ばないで教室内で並んで順番待ちをし、コンパクトに作業していた。階段を一方通行にするなどルール作りがされており、生徒による手運びもスムーズに進んでいる。

委員 全クラスが1階の配膳室に取りに行くのか。

事務局 給食当番は、1階に2ヶ所ある配膳スペースと牛乳保管場所の計3箇所に食器・食缶等を取りに行く。

委員 本校は、配膳スペースが3ヶ所あり、教職員は各配膳スペースでの指導は必要か。

事務局 基本的に配膳スペースには業務委託する配膳員を配置し、生徒に食器・食缶等を引き渡すが、実施当初は、配膳スペース前での整列などの指導が必要になると思う。

委員 人間的に配膳室に教職員を配置することが厳しいかもしれないが考慮しないとイケない。

事務局 犬蔵中学校などの実施状況について映像として記録し、ビデオなども使って各学校へ情報提供することも検討していきたい。

委員 犬蔵中学校の配膳員は何人か。

事務局 配膳員は配置していない。犬蔵中学校では自校方式の給食調理業務を委託しており、調理を終えた給食調理員が各配膳スペースに一人ずつ移動し配置している。

委員 学校給食センター対象校について、学校規模により配膳員の人数が決まっているのか。

事務局 配膳スペースの数による。各学校に複数配置していきたい。

委員 4校時終了から食べ始めるまでどのくらいの時間か。

事務局 犬蔵中学校を視察したが、詳しい時間計測等の検証はこれからだが、時程は4校時終了から調整時間5分と配膳時間15分で20分間ほど要している。

委員 片付けは昼休み時間まで行われるのか。

事務局 クラスにもよるが、早く食べ終われば片付けに取りかかっている。

委員 給食が始まっている現場の教職員からは、今までになかった給食指導に戸惑っているという声もある。給食時間や生徒の動きは円滑に実施されている場合でも、見えないところでの苦労もあり不安な材料になる。現在の状況を検証の上、多角的に各学校にアナウンスしてほしい。

資料4 平成28年度 中学校給食に関するアンケート実施（案）について

資料5 学校給食費の徴収額について

資料6 中学校給食 会計研修について

（事務局より説明）

- 委員 ミルク給食の場合は注文数分を業者へ支払っているが、完全給食実施後は、徴収した給食費を（公財）川崎市学校給食会へ送金するというだけでよいか。
- 事務局 川崎市立中学校完全給食の手引きの中に給食費送金書の様式がある。当該様式を（公財）川崎市学校給食会へ提出するとともに徴収した給食費を送金していただく。また、未納分は台帳で管理を行っていただきたい。過年度分の未納情報については、（公財）川崎市学校給食会へ引き継いでいただく。
- 委員 教職員の給食費は現金納付か。教職員は学校徴収金用の口座は持っていない。
- 事務局 小学校では口座振替されているようだが、東橋中学校は現金徴収としている。各学校で管理しやすい方法をお願いします。
- 委員 東橋中学校の未納の状況はどうか。
- 事務局 平成28年度の状況は年度が終了しないと明確にならないが、平成27年度の3か月間について、卒業生の未納はなかった。在校生で4～5人だったとの報告を受けている。
- 委員 災害等で給食停止になったら食材はどうなるのか。
- 事務局 牛乳など賞味期限内であれば、次の日に提供可能であるが、食材はその日に納入されたものを調理するので使い回しすることなくリサイクル処理する。給食停止になっても給食費の返金はしない。保護者説明会でも説明させていただいているが、今後も理解いただけるよう丁寧に説明していきたい。
- 委員 アレルギー対応について、これまでも事務局から説明していただいているが、養護教諭の中でもアレルギー対応の理解が十分でない部分がある。学校でどのように対応を進めていけばいいか、またスケジュール等も含め、改めて説明会を行っていただきたい。
- 事務局 了解した。
- 委員 給食担当者の説明会も会計事務の説明会とは別に開催をお願いしたい。
- 事務局 了解した。
- 委員 中学校給食の会計事務の研修資料の中で、給食費について1食当たり320円程度だが、280円程度の献立もあれば350円程度の献立もあるという表現があるが、320円を下回ることも

あれば上回ることもあるという表現の方がよい。

委員 南部学校給食センター対象校の給食実施日について、9月1日に実施できないと伺っているが。

事務局 8月29日と31日を試行日とし、9月1日を調整日とし、9月4日から実施としている。

16時35分 閉会